



福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺宇過吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長 : 大野順道 ■幹事 : 金子親房
- 会報委員長 : 丹治洋子 ■副委員長 : 佐藤朋也
- 委員 : 中央清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

第15回例会

平成 25 年 10 月 16 日 (水) 移動例会 レストラン「風の谷」

■会員/72名 ■出席/49名 ■出席率/68.06% ■メイクアップ/23名 ■修正/72名 ■修正率/100%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ローターソング 奉仕の理想
- 3 四つのテスト
- 4 来訪者紹介と会長挨拶
- 5 クラブ臨時総会
新会員承認の件 関口 富美男氏
- 6 幹事報告 4件
- 7 レストラン「風の谷」
オーナー高橋 実 会員挨拶
- 8 地区職業奉仕委員会セミナー報告
職業奉仕委員会委員長 松崎弘昭
- 9 各委員会報告
- 10 閉会点鐘

会員の広場

先週も紹介しましたが、2013-2014 のメイン行事でありますいわきでの地区大会・地区指導者育成セミナー、RI 会長代理歓迎晩餐会、大会本会議に万乱を排して1人でも多く、出席して頂きたいと思っております。

今日の一面記事 福島民報 10/16

大型の台風 26 号は 16 日昼前から昼過ぎにかけて本県に最接近する見通し。福島地方気象台は、「10 年に一度の非常に強い台風」として土砂災害や河川の増水、高波への注意をよびかけている。

◆会長あいさつ◆

大野 順道 会長



皆さん こんにちは。台風 26 号がどうなるか大変気がかりでした。昨日のうちに小中学校は休校となりましたので、はたして

移動例会ができるかどうか心配致しました。

お陰様で台風襲来にも拘わらず、今年度最多の出席で例会が行われることとなりました。福島この自然の中で、皆さんと共におもてなしのご馳走をいただけますことは嬉しい限りです。

先週例会後に理事会がありました。次次年度、第 45 代会長は菅原節子会員と決まりましたのでご報告致します。一度地区大会の出欠をとりましたが、まだ出席人数も少ないので、もう一度出欠をとります。地区大会の参加に、まだ間に合いますので是非申し込み下

さい。

今月は職業奉仕月間で、先週は森惣兵衛 地区職業奉仕委員会委員長をお招きし、スピーチをして頂きました。

そのお話の中で、職場訪問は社会奉仕であり、職業奉仕でもあると話されていましたが、本日は高橋実会員の職場訪問です。高橋実会員にクラブ奉仕をしていただきました。誠に有難うございました。

ご尽力くださいました松崎職業奉仕委員会委員長始め、委員のみなさん、会場監督の皆様に感謝申し上げます。

◆クラブ臨時総会◆

新会員承認の件

関口 富美男 氏 (カネハチタクシー)
取締役営業部長

◆移動例会 レストラン「風の谷」◆

オーナー高橋 実会員挨拶 (魚・海老のソテー 黒酢ソース
「客へ思いバランスを提供する奉仕」 ライス・アイス・コーヒー付)



本日の例会挨拶はオーナーの商売に対する秘訣について、右脳というのは遊び関係が全部支配して・左脳というのは仕事関係でございます。情報を収集する、分析する、数字・文字を読・書く、判断する。全部左脳。その両方がうまいバランスとれて、人間は具合が良とお話をされていました。内容は、資料「小沢昭一ボケ防止いつも心に鼻唄を」全 7 ページを秋の夜長に是非熟読願います。

◆地区職業奉仕委員会 セミナー報告◆

職業奉仕委員会

松崎弘昭 委員長

来る 10 月 5 日(土)に、郡山ホテルハマツにて開催された、地区職業奉仕委員会セミナーの参加報告をさせていただきます。

このセミナーでは、「職業奉仕の原理と実践」という演題で、兵庫・伊丹 RC 深川純一 P G 弁護士より職業奉仕の神髄を勉強させて頂きました。

職業奉仕の概念を知ること「世のため人のために奉仕する心をもって職業を営むこと」なのだそうです。そして、ロータリアンのロータリーたるゆえんは、職業奉仕の実践であると言われております。

まだまだ、修行不足な私にとっては、なかなかそういう気持ちで職業を営むことが出来ませんし、「世のため人のために奉仕する心をもって職業を営むこと」が

なんで受益者がロータリアンなのかわかりづらいのですが、せめて、「情けは人の為ならず」という言葉があるように「世の為人の為」とか「社会貢献」という他者への奉仕は、必ずしも他者のためだけでなく、回りまわって形を変えて結局自分に返ってくるということを考えれば、すこしわかるような気がします。

しかし、一つだけ間違っはいけないことは、初めから何らかの受益を求めてやる奉仕は、本と逆さまであるということでもあります。又、職業奉仕は、愛情の世界、言い換えれば倫理の精神をもって打算の世界をコントロールする、つまり、如何に儲けるかという気持ちをコントロールすることであり、そのための知恵や発想の交換の場が毎回の例会であるということです。そしてこれは、米山梅吉先生が「ロータリーの例会は人生の道場である」と言われるゆえんであります。

例題 千葉医大 中山恒明先生

食道ガンについての研究を重ね、大変な努力の結果新たな手術のノウハウを確立しこのノウハウを惜しげもなく公開して多くの医師がそれを学び、結果的に多くの食道ガンの患者を救うことになった話です。

同業者関係にあるものは、とかく競争の原理にさらされていることが多いわけですが、同業者の共存共栄の倫理の大切さを知らしめた例ではないかと思っております。

ロータリアン自身がその活動の中で、成功者のノウハウを学び、それに新たな総意工夫を重ねてさらなる発展する。そしてまたそれを社会に還元するといったことで、正に、受益者がロータリアンであるということが分かりました。

最後になりますが、今回、職業奉仕の第一人者といわれる深川先生の講演を聞く機会を与えていただいた大野会長に感謝してセミナー報告といたします。

—編集後記—

会報担当者として本日の松崎職業委員長のセミナー報告は、今後のクラブの職業奉仕委員会資料としてクラブ事務局で保管すべきと感じました。(中央)